



令和7年度 帯広市立清川小学校 学校便り

清川

清川小
HP
↓



学校教育目標 『考える子(知) 豊かな子(徳) 強い子(体)』
 キャッチフレーズ 『笑顔あふれ 心あったか 清川っ子』
 重点(目指す子どもの姿)
 【あいさついっぱい】 【チャレンジいっぱい】
 【えがおいっぱい】 【おもいやりいっぱい】
 開校60周年テーマ
 『未来へバトンをつなごう～清川っ子60年の物語～』

令和7年9月10日発行 No.10 (文責 新津 貴裕)

『子どもたちが笑顔で自分らしさを発揮し、生き生きと活躍できる学校』

6年ぶり開催 清川子どもみこし

夏休み明けの8月29日(金)、2019(令和元)年以来6年振りの開催となった「清川子どもみこし」が無事に開催されました(開始直前まで、不安定な天候に悩まされましたが・・・)。

昨年度来、連合町内会の役員の方から「清川子どもみこし」を行いたいという相談があり、小・中ともに前向きな検討を進め、当日に向け準備を進めてきました。

今日、少子化や人口減少、家族形態の変化や SNS の発達などライフスタイルが多様化する社会において、子どもたちの人間関係を育み広げる機会が減少しており、地域の中で子どもたちの社会性を高めることが難しい時代になってきたと言われています。

ですから、この清川地区で引き継がれてきた「子どもみこし」を実施することは、『伝統行事に参加し地域の人々と密接になり、地域への愛着を高める』『郷土をつくる次世代の人材育成、持続可能な地域社会の形成につなげる』という目的を達成し、これまで以上に清川地区で学ぶ子どもたちの「清川愛」の高まりにつながったように感じます。子どもたちにとって、地域の方と一体となった今回の取組はとても大きな財産であり、自慢できる最高の思い出となりましたね。

清川中学校区コミュニティースクール協議会委員の皆様や実行委員の皆様、そして、多くの保護者や地域の皆様のお力添えの下、無事に実施できたことに心から感謝いたします。ありがとうございました。



◆「勝ち方」だけでなく「負け方」も美しく◆～2025年 甲子園・仙台育英高校 須江監督から学ぶ～

今年の夏の甲子園も、数々の名勝負に心を動かされました。私の中で、こんなに手に汗握る熱い試合が多く、感動することが多かった甲子園大会はなかなか無かったように思います。画面越しに球児たちの全力プレーに拍手を送りながら、私はあるひとつのシーンに深く感動しました。

それは、以前に学校だよりも取り上げさせていただいた仙台育英高校の須江監督の試合後の姿でした。敗戦という悔しい場面にもかかわらず、相手校の勝利をたたえ、最後まで堂々とチームをまとめる姿。選手たちにも「相手が強かった、素晴らしかった」と語り、前を向かせていたのです。結果的に相手校は見事優勝を果たしましたね。

「グッドルーザー」という言葉があります。それは、「いい負け方ができる人」のこと。スポーツでは「勝つこと」が目されがちですが、本当に価値があるのは、負けたときの姿勢にこそあるのかもしれない。

子どもたちの毎日の生活や学びの中でも、思い通りにいかないこと、悔しい思いをすることがあります。でも、そのときにどう振る舞うか。負けたときこそ、人としての成長のチャンスだということを、須江監督は私たちに教えてくれたように思います。私たち大人も、子どもたちの「悔しさ」に寄り添いながら、ただ勝つこと以上に大切なことを伝えていけたらと思います。

仙台育英高校の試合後、須江監督の新刊を手に入れようとしたのですが、売れ切れ…。今は、やっと手に入れた書籍をじっくりと読んでおります。学生時代に多くの苦労や挫折を経験してきたことがわかりました。だからこそ、今の須江監督の姿があるということもわかりました。須江監督の書物からはいつも多くのことを学ばせてもらっています。

令和7年度防犯・安全標語決定

6月25日、「清川子どもを守る会」の皆様のご協力の下、小・中それぞれの標語入選作品を決定いたしました。7月23日終業式の際には、PTA会長石橋様から、賞状が手渡されました。入選作品は、校内や校舎前歩道に掲示されています。



「清川子どもを守る会」防犯・安全標語入選作品紹介

優秀賞

5年 [redacted] さん「さいがいつ 声をかけ合い 助け合い」

入選

1年 [redacted] さん「いえのかぎ ちゃんとかけたか たしかめて」

1年 [redacted] さん「しんごうき まもることだよ ちゃんとみて」

2年 [redacted] さん「ひとりのとき ピンポンなっても あげないよ」

2年 [redacted] さん「あぶないよ しらない車に のらないよ」

3年 [redacted] さん「うんてん中 スマホをみたら 死ぬんだよ」

3年 [redacted] さん「右左 いのちをまもる あいことば」

4年 [redacted] さん「とくしゅさぎ うまい話は あまいわな」

4年 [redacted] さん「気をつけろ くまにあったら あとずさり」

5年 [redacted] さん「わる口は 心も体も きずつける」

6年 [redacted] さん「二つの目 道路と不審者 見るために」

6年 [redacted] さん「しんごうむし こうかいしても もうおそい」

将来の先生が清川小で学びを深めました!

9月1日～5日は2名の大学生が、そして、今週9月8日～10日には1名の大学生が体験実習で本校を訪れました。毎年、本校には教職を志す大学生が複数名訪れます。迎える側としても、教職の楽しさやすばらしさを感じ取り、大学へ戻ってほしいです。そして、将来仲間としてこの職についてほしいと願っているところです。毎年訪れる学生さんは、清川小学校の温かい雰囲気、子どもたちの素直さに触れ、すてきな時間を過ごせたと言ってくれます。「笑顔あふれ 心あったか 清川っ子」嬉しいですね…。

